

大麦だより(第8号)

令和5年5月15日
J A 能 美

○管内大麦の刈取適期予想(5月15日時点)

刈取適期予想 : 5月26日～28日頃

収穫時期は、ほ場によって異なります。適期予想と下記の収穫期の判断方法を参考に、各自刈り取り適期を判断し、刈取しましょう。

1. 収穫前に、ほ場の確認をしましょう！！

①雑草・異種株等の抜き取り

カラスノエンドウの種子、雑草(野大根)、異種株が混入したものは、JA共乾施設では荷受けできませんので、必ず抜き取りを実施して下さい。

② 赤かび発生区域の除外

万一、赤かびの発生が見られた場合、刈り取らないように除外を徹底して下さい。

③ 異物混入の防止

異物混入のないよう、ほ場内を見回り、空き缶やペットボトルといったゴミ等は取り除きましょう。



カラスノエンドウ

2. 各自で刈取適期を判断しましょう！！

収穫時期が早いと、子実の充実が不十分となり、空洞粒が発生しやすくなります。

収穫期の判断方法

① 穀粒水分の測定

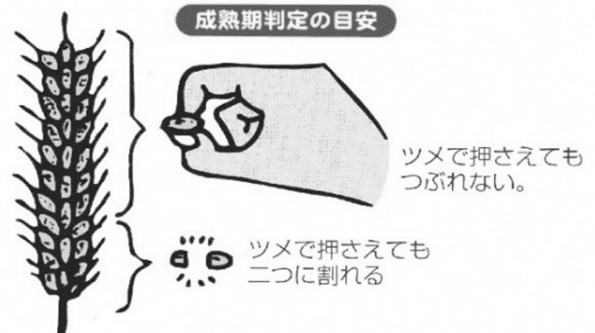
穀粒水分30%以下で刈り取りをしてください。

刈取り開始時期: 30%以下

収穫最適水分: 20～25%

② 判断の目安(右図参照)

穂軸や茎葉が完全に黄化し、粒の基部に青味が全く残らず、麦の硬さはろう状で、爪で押さえて、爪跡が残る程度



※ 収穫後は早めに搬入してください。

収穫後の高水分麦は、そのまま放置すると、腐敗し異臭麦や熱損粒となるため、収穫後2時間以内にJA共乾施設に持ち込んでください。

3. 収穫作業のチェックポイント

	ポイントとなる技術内容	チェック欄
1	カラスノエンドウは完全に抜き取りましたか？	はい いいえ
2	米が混入しないよう、コンバインの清掃・点検が徹底されていますか？	はい いいえ
3	コンバインの選別を麦用に合わせましたか？	はい いいえ